

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズすてっぷ させぼ (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 10月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・スタッフ全員で、案を出し合って作成される、小集団活動の実施(グループ活動)	・子ども、保護者様が分かりやすいように、活動プログラムを毎月作成している。 ・活動に、ネーミングをつけて、親しみがもてるようにしている。 ・チームワークを大切にしている。	・5領域の内容をしっかりと取り入れていく。 ・充実した話し合いの場を作っていく。
2	・専門的視点から考え、実行する、個別活動の実施(マイトレーニング)	・ニーズに応じながら、個別にプログラムを立て、その時々の子どもの様子に合わせて、手厚い支援に心がけている。	・専門職同士の連携。(事業所内や法人内) ・専門的知識の収集。
3	・安心感、安全な環境の提供	「楽しいな」「会いたいな」「一緒に過ごしたいな」など、誰かと一緒に気持ちを共有したり、できる気持ちを大切にしている。	・安心して通って頂けるように、保護者様の意向を、把握していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・医療や発達支援センターとの連携が不足しがち。	・どこが主となり、連携をとっていくべきか、流れの把握ができていない。	・どのように連携をとっていくべきか、考えていく。 ・医療や保険などの繋がりがどうもてるか、情報収集をしていく。
2	・年齢別において、細やかな支援の内容の提供。	・未就学児、小学生、中学、高校の子どもの課題や悩みはそれぞれ違うものであり、その課題に向き合っていく。	・年齢層が上の子どもの通所が多い事業所との連携。 ・個別支援計画の見直し。
3	・構造上、玄関が2階となり、階段の昇降が必要となる。	・構造上、やむを得ないと考える為、工夫をしている。	・手すりの使用を声掛けする。 ・階段の昇降は、必ずスタッフが誘導する。